

事務事業評価調書

72

1. 基本情報

事務事業名	広尾町地籍図管理システム作成委託業務			事業開始年度	H27	実施計画事業番号	4-3-②-1
担当課	建設水道課			担当係	土木係	担当者	前田 伸之
事業の性質	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 義務的自治事務 <input checked="" type="radio"/> 任意の自治事務			法定根拠			
実施方法(全てチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施			<input type="checkbox"/> 委託又は指定管理	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	<input type="checkbox"/> その他()	

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合計画(基本計画)上の位置づけ	基本目標	4 住みやすさを感じられるまちづくり
	政策	3 自然と共生した生活基盤をつくる
	施策	② 計画的で有効な土地利用の推進
	具体的な施策	
めざす目的成果	・地籍面積計算簿を電子化することにより、町民・関係業者からの問い合わせ、閲覧・交付作業に対するサービスの向上と大幅な時間短縮が図られ業務の円滑化を図ることが出来る。また、データー(紙)の劣化が著しく電子化することで永久に保存管理することが出来る。	
事業内容	対象(誰を、何を)	・町民、関係業者
	手段・手法	地籍図、面積計算簿の電子化(システム化)
	サービス内容	閲覧、交付作業の時間短縮

3. 実施結果「DO(実施)」

単位:千円			平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(予算)	令和2年度事業費の内訳
コスト	事業費	委託料	3,996	4,510	5,071	
		事業費合計	3,996	4,510	5,071	
	人件費	常勤職員(延) 会計年度任用職員(延)	10人日 時間	314 0	10人日 時間	330 0
		人件費合計		314	330	316
総事業費			4,310	4,840	5,387	令和2年度財源内訳の積算
財源内訳	国道支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		4,310	4,840	5,387	
	財源合計		4,310	4,840	5,387	
R元年度 実施内容	野塚地区外 2,355筆の地籍図、面積計算簿の電子化					
活動指標 ※何をどのくらいやったかを把握するためのものさし		指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	H30実績 H30(目標)	R1実績 R1(目標)	R2(目標) 最終目標値
地籍図、面積計算簿の電子化		地籍図、面積計算簿の筆数	筆	2227 (2227)	2355 (2355)	— (2472)
						— (11476)
				()	()	()
成果指標 ※どのような効果があったかを把握するためのものさし		指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	H30実績 H30(目標)	R1実績 R1(目標)	R2(目標) 最終目標値
地籍図、面積計算簿の電子化		閲覧、交付作業に対するサービスの向上と大幅な時間短縮を図ることが出来る。電子化により永久保	筆	2227 (2227)	2355 (2355)	— (2472)
						— (11472)
				()	()	()

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1次評価 (自己評価)	1.妥当性の評価			
	20 ／20	<p>①国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 課題もあり検討すべき(4) <input type="radio"/> 必要性がない(0)</p> <p>②事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 一部改善すべき(4) <input type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)</p>	説明	管理者として適正な管理が必要 他社との関連性がない独自システムのため町内業者へ委託。現手法が最適である。
	2.公平性の評価			
	20 ／20	<p>①事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input type="radio"/> 対象者に対し公平である(6) <input type="radio"/> 見方により偏りがある(4) <input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)</p> <p>②受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。</p> <p><input type="radio"/> 十分適切である(10) <input checked="" type="radio"/> 受益者負担なし(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> やや不適切である(4) <input type="radio"/> 受益者負担を検討すべき(2) <input type="radio"/> 不適切である(0)</p>	説明	すべての利用者に対して、公平性を欠くところはない。 町費による委託業務実施。
	3.有効性の評価			
2次評価 (政策プロトコル評価)	16 ／20	<p>①政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> とても有効である(10) <input type="radio"/> 有効である(6) <input type="radio"/> やや有効性に欠ける(4) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)</p> <p>②当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。</p> <p><input type="radio"/> 計画値以上である(10) <input checked="" type="radio"/> 計画値通りである(6) <input type="radio"/> 計画値以下である(4) <input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)</p>	説明	閲覧、交付作業に対するサービスの向上データー(紙)を電子化することで永久に保存管理することができる。
	4.効率性の評価			
合計	12 ／20	<p>①他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。</p> <p><input type="radio"/> 比較的低成本である(10) <input checked="" type="radio"/> 適正なコストである(6) <input type="radio"/> ややコスト高である(4) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)</p> <p>②予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。</p> <p><input type="radio"/> 効率性が高い(10) <input checked="" type="radio"/> 適正である(6) <input type="radio"/> 改善の必要がある(4) <input type="radio"/> 非効率的である(0)</p>	説明	全道統一の労務単価により委託料を算定しているため、適正なコストである。 適正である。
	5.優先性の評価			
2次評価 (政策プロトコル評価)	20 ／20	<p>①社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10) <input type="radio"/> できれば実施(6) <input type="radio"/> 見直して実施(4) <input type="radio"/> 事業見合わせ(2) <input type="radio"/> 終了・廃止すべき(0)</p> <p>②事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 影響は大きい(10) <input type="radio"/> 影響はある(6) <input type="radio"/> 影響は少ない(4) <input type="radio"/> 影響はない(0)</p>	説明	データー(紙)を電子化することで永久に保存管理する能够性があるために必要である。 地籍図閲覧などの利用者への交付作業の時間短縮、データ(紙)の品質劣化により数値等が判別できなくなってしまう。
	88 ／100	事業実施の課題・方向性	昭和31年～昭和40年に作成された地籍図、面積計算簿のデーター化が完了(R2予定)するまでの継続が必要	

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価 (政策プロトコル評価)	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善	<input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 縮小
	労働量		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 縮小
今後の取組方針 (改善点・変更点)				
主幹者会議評価	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善	<input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 縮小
	労働量		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 縮小
総合コメント				

事務事業評価調書

73

1. 基本情報

事務事業名	公園・緑地草刈清掃業務委託				事業開始年度		実施計画 事業番号	4-3-③-2
担当課	住民課		担当係	環境生活係	担当者	三浦 弘樹		
事業の性質	<input type="radio"/> 法定受託事務		<input type="radio"/> 義務的自治事務		<input checked="" type="radio"/> 任意の自治事務		法定根拠	
実施方法(全てチェック)	<input type="checkbox"/> 町が直接実施		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金		<input type="checkbox"/> その他()	

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合 計画(基本計画)上 の位置づけ	基本目標	4 住みやすさが感じられるまちづくり
	政策	3 自然と共生した生活基盤をつくる
	施策	③ 利用しやすい公園・緑地の整備
	具体的な施策	1 公園・緑地の維持管理の推進
めざす目的成果		公園・緑地の適正な維持管理を推進し、地域コミュニティの場としての使用環境の向上を図る。
事業 内容	対象 (誰を、何を)	公園・緑地・墓地
	手段・手法	草刈、枝剪定、ごみ処理等清掃管理
	サービス内容	公園・緑地等の使用環境の向上

3. 実施結果「DO(実施)」

		単位:千円	平成30年度(決算)		令和元年度(決算)		令和2年度(予算)		令和2年度事業費の内訳
コスト	事業費	委託料		18,004		18,401		18,685	委託料 18,685千円
		事業費合計		18,004		18,401		18,685	
	人件費	常勤職員(延)	5 人日	157	5 人日	165	5 人日	158	
		会計年度任用職員(延)	時間	0	時間	0	時間	0	
財源 内訳	人件費合計			157		165		158	
		総事業費		18,161		18,566		18,843	令和2年度財源内訳の積算
	国道支出金								
	地方債								
	その他特定財源								
財源 内訳	一般財源			18,161		18,566		18,843	
	財源合計			18,161		18,566		18,843	
R元年度 実施内容		公園・緑地・墓地墓地等の草刈・清掃等 管理面積 270,016m ²							
活動指標 ※何をどのくらいやったかを 把握するためのものさし		指標の説明 ※指標の内容と設定理由		単位	H30実績 H30(目標)	R1実績 R1(目標)	R2(目標)	目標年度 最終目標値	
		緑地等の適正な維持管理		m ²	264,862 (264,862)	270,016 (270,016)	— (270,016)	R 2 年度 (270,016)	
成果指標 ※どのような効果があったかを 把握するためのものさし		指標の説明 ※指標の内容と設定理由		単位	H30実績 H30(目標)	R1実績 R1(目標)	R2(目標)	目標年度 最終目標値	
		— (270,016)		— (270,016)	— (270,016)	— (270,016)	— (270,016)	年度 (270,016)	

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1.妥当性の評価					
16 /20		<p>①国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 課題もあり検討すべき(4) <input type="radio"/> 必要性がない(0)</p> <p>②事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。</p> <p><input type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input checked="" type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 一部改善すべき(4) <input type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)</p>			
2.公平性の評価					
20 /20		<p>①事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input type="radio"/> 対象者に対し公平である(6) <input type="radio"/> 見方により偏りがある(4) <input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)</p> <p>②受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 十分適切である(10) <input type="radio"/> 受益者負担なし(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> やや不適切である(4) <input type="radio"/> 受益者負担を検討すべき(2) <input type="radio"/> 不適切である(0)</p>			
3.有効性の評価					
1次評価(自己評価)	16 /20		<p>①政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> とても有効である(10) <input type="radio"/> 有効である(6) <input type="radio"/> やや有効性に欠ける(4) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)</p> <p>②当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。</p> <p><input type="radio"/> 計画値以上である(10) <input checked="" type="radio"/> 計画値通りである(6) <input type="radio"/> 計画値以下である(4) <input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)</p>		
			<p>説明</p> <p>住民が快適に利用できる。</p>		
4.効率性の評価					
16 /20		<p>①他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 比較的低成本である(10) <input type="radio"/> 適正なコストである(6) <input type="radio"/> ややコスト高である(4) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)</p> <p>②予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。</p> <p><input type="radio"/> 効率性が高い(10) <input checked="" type="radio"/> 適正である(6) <input type="radio"/> 改善の必要がある(4) <input type="radio"/> 非効率的である(0)</p>			
5.優先性の評価					
2次評価(組織評価)	20 /20		<p>①社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10) <input type="radio"/> できれば実施(6) <input type="radio"/> 見直して実施(4) <input type="radio"/> 事業見合わせ(2) <input type="radio"/> 終了・廃止すべき(0)</p> <p>②事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 影響は大きい(10) <input type="radio"/> 影響はある(6) <input type="radio"/> 影響は少ない(4) <input type="radio"/> 影響はない(0)</p>		
			<p>説明</p> <p>公園等の利用が出来なくなる。</p> <p>説明</p> <p>264,862</p>		
合計	88 /100	事業実施の課題・方向性	<p>今後も引き続き実施</p>		

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価(政策プロ)	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善	<input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投資資源の方向性	事業量	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 縮小
今後の取組方針(改善点・変更点)				
主管者会議評価	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善	<input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投資資源の方向性	事業量	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 縮小
総合コメント				

事務事業評価調書

74

1. 基本情報

事務事業名	公園施設長寿命化事業			事業開始年度	H26		実施計画事業番号	4-3-(3)-3	
担当課	建設水道課		担当係	土木係	担当者	前田 伸之			
事業の性質	<input type="radio"/> 法定受託事務		<input type="radio"/> 義務的自治事務		<input checked="" type="radio"/> 任意の自治事務		法定根拠		
実施方法(全てチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施		<input type="checkbox"/> 委託又は指定管理		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金		<input type="checkbox"/> その他()		

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合 計画(基本計画)上 の位置づけ	基本目標	4 住みやすさが感じられるまちづくり
	政策	2 便利で快適な生活環境をつくる
	施策	③ 利用しやすい公園・緑地の整備
	具体的な施策	2 都市公園の整備
めざす目的成果		・劣化している都市公園内の遊具、木橋及び木道を補修し来訪者の安全確保を図る。
事業 内容	対象 (誰を、何を)	・町民、公園利用者
	手段・手法	修繕
	サービス内容	スポーツやイベント、憩いの場として、安心して利用できる地域コミュニティの場を提供

3. 實施結果「DO(實施)」

単位:千円		平成30年度(決算)		令和元年度(決算)		令和2年度(予算)		令和2年度事業費の内訳	
コスト 事業費	工事請負費		1,188		985		1,012		
	事業費合計		1,188		985		1,012		
	常勤職員(延)	10人日	314	10人日	330	10人日	316		
	会計年度任用職員(延)	時間	0	時間	0	時間	0		
	人件費合計		314		330		316		
	総事業費		1,502		1,315		1,328		令和2年度財源内訳の積算
財源内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源		1,502		1,315		1,328		
	財源合計		1,502		1,315		1,328		

活動指標 ※何をどのくらいやったかを把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	H30実績	R1実績			目標年度 最終目標値
			H30(目標)	R1(目標)	R2(目標)		
都市公園の遊具数	劣化した遊具数	箇所	5 (5)	3 (3)	— (3)	— ()	R2 年度
			()	()	()	()	年度
成果指標 ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	H30実績 H30(目標)	R1実績 R1(目標)			目標年度 最終目標値
遊具施設等の管理の充実	劣化した遊具を補修することにより、来訪者の安全を図る	箇所	5 (5)	3 (3)	— (3)	— ()	R2 年度
			()	()	()	()	年度

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1. 妥当性の評価			
20 ／20	① 国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。 <input checked="" type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 課題もあり検討すべき(4) <input type="radio"/> 必要性がない(0) ② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。 <input checked="" type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 一部改善すべき(4) <input type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)		
	説明	管理者として適正な維持管理が必要	
	③ 事業の目的照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。 <input checked="" type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input type="radio"/> 対象者に対し公平である(6) <input type="radio"/> 見方により偏りがある(4) <input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)		
	説明	すべての公園利用者に対して、公平性を欠くところはない。	
2. 公平性の評価		② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。 <input type="radio"/> 十分適切である(10) <input checked="" type="radio"/> 受益者負担なし(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> やや不適切である(4) <input type="radio"/> 受益者負担を検討すべき(2) <input type="radio"/> 不適切である(0)	
説明	町費による工事実施。		
1次評価（自己評価）			③ 有効性の評価 ① 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。 <input checked="" type="radio"/> とても有効である(10) <input type="radio"/> 有効である(6) <input type="radio"/> やや有効に欠ける(4) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)
	説明	来訪者の安全を図ることが出来る	
	② 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。 <input type="radio"/> 計画値以上である(10) <input checked="" type="radio"/> 計画値通りである(6) <input type="radio"/> 計画値以下である(4) <input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)		
	説明	計画通りである	
4. 効率性の評価		① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。 <input type="radio"/> 比較的低成本である(10) <input checked="" type="radio"/> 適正なコストである(6) <input type="radio"/> ややコスト高である(4) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)	
12 ／20	説明	全道統一の労務単価により工事価格を算定しているため、適正なコストである。	
	② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。 <input type="radio"/> 効率性が高い(10) <input checked="" type="radio"/> 適正である(6) <input type="radio"/> 改善の必要がある(4) <input type="radio"/> 非効率的である(0)		
	説明	適正である。	
	5. 優先性の評価 ① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。 <input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10) <input type="radio"/> できれば実施(6) <input type="radio"/> 見直して実施(4) <input type="radio"/> 事業見合わせ(2) <input type="radio"/> 終了・廃止すべき(0)		
20 ／20	説明	劣化・損傷のある遊具施設等の補修は、公園利用者(特に子供)が安心して遊ぶために必要である。	
	② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。 <input checked="" type="radio"/> 影響は大きい(10) <input type="radio"/> 影響はある(6) <input type="radio"/> 影響は少ない(4) <input type="radio"/> 影響はない(0)		
	説明	劣化・損傷のある遊具施設等の補修を実施しなければ、重大事故やケガを招く恐れがあり公園利用者に影響がある。	
合計	88 ／100	事業実施の課題・方向性	劣化箇所を把握し、適正な維持管理を実施する。

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価（政策プロ）		事業の方向性	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善	<input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間： 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期： 年度)
投資資源の方向性	事業量	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小		
	労働量	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小		
今後の取組方針（改善点・変更点）				
主管者会議評価	事業の方向性	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善	<input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間： 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期： 年度)	
投資資源の方向性	事業量	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小		
	労働量	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小		
総合コメント				

事務事業評価調書

75

1. 基本情報

事務事業名	大丸山森林公園施設改修等事業				事業開始年度		実施計画 事業番号	4-3-(3)-4
担当課	水産商工観光課	担当係	サンタランド係	担当者	増田 隼人			
事業の性質	○ 法定受託事務	○ 義務的自治事務	◎ 任意の自治事務					
実施方法(全てチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理	<input type="checkbox"/> 助助金・負担金	<input type="checkbox"/> その他()				

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合 計画(基本計画)上 の位置づけ	基本目標	4 住みやすさが感じられるまちづくり
	政策	3 自然と共生した生活基盤をつくる
	施策	③ 利用しやすい公園・緑地の整備
	具体的な施策	3 大丸山森林公園の充実
めざす目的成果	観光地として施設改修等することで来場者が心地よく楽しむことができる環境を整え、再度の誘客を促し、商工観光振興及び産業振興を図る。	
事業内容	対象 (誰を、何を)	町民、観光客
	手段・手法	サンタランドの聖地として公園施設を整備し、観光客に来町していただく
	サービス内容	草花の観覧、快適な公園環境の提供

3. 実施結果「DO(実施)」

		単位:千円	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(予算)	令和2年度事業費の内訳
コスト	事業費	委託料	5,646	5,887	6,120	【委託料】 ・大丸山森林公園花壇管理委託料 2,394 ・大丸山森林公園管理委託料 3,726 【工事請負費】 ・大丸山森林公園バーベキューハウス管理棟床改修工事 265 ・大丸山森林公園サンタの家改修工事 1,816 ・花畠「サンタの丘」造成・植栽工事 246
		工事請負費	1,253	227	2,327	
		事業費合計	6,899	6,114	8,447	
	人件費	常勤職員(延)	4 人日 126	4 人日 132	4 人日 127	
		会計年度任用職員(延)	0 時間 0	0 時間 0	0 時間 0	
財源内訳		人件費合計	126	132	127	
		総事業費	7,025	6,246	8,574	令和2年度財源内訳の積算
		国道支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	7,025	6,246	8,574	
		財源合計	7,025	6,246	8,574	
R元年度 実施内容		・大丸山森林公園の管理委託 ・大丸山森林公園花壇の管理委託 ・花畠「サンタの丘」の造成・植栽				
活動指標 ※何をどのくらいやったかを把握するためのものさし		指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	H30実績 H30(目標)	R1実績 R1(目標)	目標年度 最終目標値
大丸山森林公園入場者数		入場者数が多いほど、観光振興が期待できる	人	23,541 (28,000)	26,179 (28,000)	ー (30,000)
成果指標 ※どのような効果があったかを把握するためのものさし		指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	H30実績 H30(目標)	R1実績 R1(目標)	目標年度 最終目標値
				() ()	() ()	ー ()
				() ()	() ()	ー ()
				() ()	() ()	ー ()
				() ()	() ()	ー ()

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1. 妥当性の評価				
20 ／20				
① 国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。	<input checked="" type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input type="radio"/> 課題もあり検討すべき(4)	<input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input checked="" type="radio"/> 必要性がない(0)	説明	国や北海道が実施すべき事業ではなく、各自治体が各自の裁量で実施すべきものである。
② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。	<input checked="" type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input type="radio"/> 一部改善すべき(4)	<input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input checked="" type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)	説明	業務は植栽等専門的知識を必要とするものもあるため、委託している現手法が最適である。
2. 公平性の評価				
20 ／20				
① 事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。	<input checked="" type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input type="radio"/> 見方により偏りがある(4)	<input type="radio"/> 対象者に対し公平である(6) <input checked="" type="radio"/> 実態として偏りがある(0)	説明	町民のみならず、来場者に対し公園を開放している。
② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。	<input checked="" type="radio"/> 十分適切である(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6)	<input type="radio"/> 受益者負担なし(10) <input checked="" type="radio"/> やや不適切である(4)	説明	大丸山森林公園入場のための料金は徴収していない。
③ 受益者負担を検討すべき(2)	<input type="radio"/> 不適切である(0)			
3. 有効性の評価				
1次評価（自己評価）	10 ／20		① 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。	
	<input type="radio"/> とても有効である(10) <input type="radio"/> やや有効性に欠ける(4)		<input checked="" type="radio"/> 有効である(6) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)	説明 観光地として公園整備を進めることは、住民の満足度向上及び再度の誘客につながる。
② 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。				
／20		<input type="radio"/> 計画値以上である(10) <input checked="" type="radio"/> 計画値以下である(4)	<input type="radio"/> 計画通りである(6) <input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)	説明 大丸山森林公園入場者数の目標値28,000人に対し、26,179人であった。
4. 効率性の評価				
12 ／20	① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。			
	<input type="radio"/> 比較的低成本である(10) <input type="radio"/> ややコスト高である(4)		<input checked="" type="radio"/> 適正なコストである(6) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)	説明 公園管理委託業務は入札により業者を選定していることや、花壇管理は専門業者に委託していることから適正なコストと判断する。
② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。				
／20		<input type="radio"/> 効率性が高い(10) <input type="radio"/> 改善の必要がある(4)	<input checked="" type="radio"/> 適正である(6) <input type="radio"/> 非効率的である(0)	説明 維持管理等に係る費用の大部分は委託費で賄えており、常勤職員の出番は少ない。
5. 優先性の評価				
20 ／20	① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。			
	<input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10) <input type="radio"/> 見直して実施(4) <input type="radio"/> 終了・廃止すべき(0)		<input type="radio"/> できれば実施(6) <input type="radio"/> 事業見合わせ(2)	説明 公園施設は継続して整備する必要があるため、必ず実施すべき。
② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。				
／20		<input checked="" type="radio"/> 影響は大きい(10) <input type="radio"/> 影響は少ない(4)	<input type="radio"/> 影響はある(6) <input type="radio"/> 影響はない(0)	説明 公園施設が短期間で利用できなくなることが予想され、その影響は大きい。
合計	82 ／100	事業実施の課題・方向性	サンタランドのまちとしてまちづくりを進めているため、施設修繕含めた整備は必要である。	

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価（政策プロ）		事業の方向性	<input type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 改善
投入資源の方向性		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度)	<input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)	<input type="radio"/>
主管者会議評価	事業量	<input type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 縮小	
労働量		<input type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 縮小	
今後の取組方針 (改善点・変更点)					
事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 改善	
投入資源の方向性	事業量	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度)	<input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)	
労働量		<input type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 縮小	
総合コメント					